



本年度最初の研究授業(5年算数)!

国の教育の方向性を示す、中央教育審議会が今年の1月に出した「令和の日本型教育の構築を目指して(答申)」では、将来の教職員の姿の一つとして、教職生涯を通じて学び続ける教職員をあげています。このことは、「学び続ける教師でなければ教壇には立てない」という意味だと私は解釈しています。小野部田小学校でも、教職員が互いに学び合い、児童に力をつけさせるため、研究主任の廣瀬教諭を中心に教職員全員で校内研究の充実に努めております。



本年度の研究テーマは「自分の考えを持ち、広げ、深め合う児童の育成」～主体的・対話的・で深い学びのある授業づくり～とし、昨年度から実施されている学習指導要領・熊本の学びを踏まえて、取り組むこととしました。そして、6月16日(水)、本年度最初の研究授業に5年担任の廣瀬教諭がチャレンジしたところです。

当日は算数の「小数のわり算」の小数÷小数の問題について、ICT機器を本格的に使用した授業が行われました。電子黒板で問題を示し、一人一台配布のタブレットに自分の解決方法を書き表し先生に送信し発表を行い、発表したことについての話し合いを通して考えを深めていました。授業の終末の練習問題でもタブレットを使うなど、新しい授業の形をみせてもらいました。5年生の授業態度もよく、意欲的に楽しく授業に参加している姿を見ながら、「学び続ける教師には、小野部田小の子供たちは必ず応えてくれる」と確信しました。貴重な提案授業をしてくださった廣瀬教諭だけでなく、教職員全員にとって有意義な研修となりました。

一生を 共に歩む 自分の歯

六月は「歯と口の健康月間」として、全国でいろいろな取り組みが行われました。冒頭のタイトルは今年度の標語です。小野部田小でもこれにちなんで「歯に関する授業の実施」「通信等での家庭への啓発」「歯の健康集会」(今年度はコロナ禍で集会ができませんでしたので、保健・体育委員会の子供たち作成の動画DVDを授業等でみせました。保健・体育委員会の皆さんありがとう!)の実施などの取り組みを行いました。また、家庭では「歯みがきカレンダー」に取り組んでいただきました。さらに、7月からはフッ化物洗口も行う予定です。このような取り組みを行っていますが、残念なことに本校の現状は表のように全国や県と比較しても、むし歯ありの児童が多いということです。

	本校 (R3)	県 (R1)	全国 (R1)
むし歯あり	43.2%	27%	21.7%

↑数値は児童全体に対する割合 歯に関する授業↓

歯が丈夫だと食べ物もおいしくいただけるので、元気な体をつくることにもつながります。本校校医の田染先生からも「日々のブラッシング」の大切さについてご指導がありました。今後も丁寧な歯みがきで健康な歯を維持できるように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。



7月の行事予定

- 2日(金) 授業参観・学級懇談会・地区懇談会
- 16日(金) 地区児童会 20日(火) 休み前集会
- 21日(水) 夏季休業日 ~8月29日(日)
- ※火曜日: あいさつ運動



5年生集団宿泊教室

6月23日(水)24日(木)に、1泊2日で5年生が県立あしきた青少年の家に海東小学校と合同で集団宿泊教室に行きました。年度当初は、コロナ禍の状況次第では実施できるか心配していましたが、感染対策と活動を制限することで予定通り実施できました。天気にも恵まれ、屋外の活動もできました。宿泊に不安を抱える児童もいたようですが、子供たちは2日間とも元気に活動を終えることができました。日頃の授業では得られない宿泊教室で得た学びを今後の生活に活かしてもらいたいと思います。



